

EPSON

カラーキャリブレーション

取扱説明書

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソン及びエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

EPSON

カラーキャリブレーション

もくじ

はじめに	1
特長	1
安全にお使いいただくために	2
使用条件	3
開梱	5
同梱品	5
各部の名称	6
セットアップ	7
キャリブレーションの接続	7
USBドライバのインストール	11
ユーティリティソフトウェアのインストール	12
プリンタキャリブレーション	13
キャリブレーションシートの印刷	13
キャリブレーションの補正	16
キャリブレーションプロファイルの作成	19
キャリブレーションプロファイルの選択	21
印刷プロファイルの補正	23
カラーチャートの印刷	23
印刷サンプルの使い方	24
印刷プロファイルの更新	24
EPSON ProfileAdjuster	31
更新した印刷プロファイルを使用するには	50
CS-Calculatorについて	53
CS-Calculatorのインストール	53
測定環境の設定	54
キャリブレーション	55
測色するには	56
測色データの保存/読み込み	58
測色データの削除	61
測色モードの変更	61
終了	62
索引	63

はじめに

特長

本製品には次のような特長があります。

- プリンタキャリブレーション
EPSON製ポストスクリプト製品と接続されているプリンタの色補正を行い、印刷時にその本来の色を引き出すことができます。



ポイント

EPSON ポストスクリプトサーバのモデルによって、使用する ColorWise Pro の画面は多少異なります。本書の説明では PS-6100 用 ColorWise Pro の画面を使用しています。

また、複数のプリンタを使用される場合は、同等の色で印刷できるようにプリンタの個体差を補正することができます。

☞ 本書 13 ページ「プリンタキャリブレーション」

- 印刷プロファイルの補正
実際の印刷現場では、印刷の版、使用する用紙やインク、印刷機の条件によって、再現される色は異なります。また、印刷データをそのまま出力しても、印刷機とご使用のプリンタでは色は異なってしまいます。本製品では、実際に使用する印刷機に合わせた ICC プロファイルを使って色補正できるので、最終印刷物に近い色をあらかじめ確かめることができます。
☞ 本書 23 ページ「印刷プロファイルの補正」



ポイント

本製品は、ジャパンカラー、SWOP、および EURO プロファイルに基づいた ICC プロファイルに対応しています。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、次の注意や指示に従ってください。

- ACアダプタを清掃するときは、ケーブルを電源コンセントから抜いてください。洗剤などの液体をキャリブレータに直接かけないでください。
- キャリブレータは、不安定な場所や熱を発生する物の近くで使用しないでください。
- キャリブレータのセンサ先端に異物を挿入しないでください。
- 使用できる電源は、ACアダプタのラベルに表示しています。それ以外の電源条件で使用しないでください。
- コピー機やエアコンなど頻繁に電源のオン・オフを切り替える機器と電源を共有しないでください。
- ACアダプタに延長コードを使用する場合、延長コードに接続されているすべての機器の合計アンペアがコードの許容アンペア値を超えないように注意してください。同様に、電源コンセントに接続されているすべての機器の合計アンペアが、電源コンセントの許容アンペア値を超えないように注意してください。
- 万一製品が正常に機能しない場合、ご自身で修理を行わず、すぐにエプソンフィールドセンターまたはエプソン修理センターまでご連絡ください。
- 製品に次のような状況が発生した場合は、ACアダプタを電源から抜き、すぐにエプソンフィールドセンターまたはエプソン修理センターまでご連絡ください。（本書で説明している以外の操作は行わないでください。）

電源コードやプラグが損傷した場合

ACアダプタ内に液体をこぼした場合

ACアダプタを落下させて破損した場合

ACアダプタが正常に動作せず異常がみられた場合

使用条件

本製品は、以下の条件で使用できます。

Macintoshの場合

システム : PowerPC プロセッサ搭載の Apple® Macintosh®、
Mac OS 8.x、9.x

ディスプレイ : カラーモニタ、解像度 800 × 600、32,000 色
上記の数値以上の解像度と色数を推奨します。



ポイント

色やトーンの再現性は、お使いのコンピュータのビデオカード、モニタ、および使用ソフトウェアによって異なります。詳細は、各製品の取扱説明書を参照してください。

CPU : PowerPC またはそれ以上

メモリ : 32MB

ハードディスク : 50MB の空き容量

Windowsの場合

システム : Microsoft® Windows® 95、Windows 98、
Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP

ディスプレイ : カラーモニタ、解像度 800 × 600、65,000 色
上記の数値以上の解像度と色数を推奨します。



ポイント

色やトーンの再現性は、お使いのコンピュータのビデオカード、モニタ、および使用ソフトウェアによって異なります。詳細は、各製品の取扱説明書を参照してください。

CPU : : Pentium またはそれ以上

メモリ : : 16MB (推奨 24MB)

ハードディスク : : 50MB 以上の空き容量



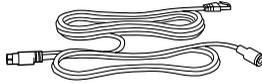
開梱

同梱品

EPSONカラーキャリブレータを取り出したら、以下の同梱品が揃っていることを確認してください。



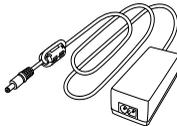
キャリブレータ



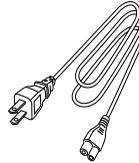
Yケーブル



Mac-PC シリアル変換アダプタ



AC アダプタ



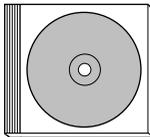
電源コード



キャリブレーションターゲット



測色台紙（黒色）

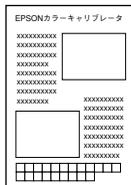


CD-ROM

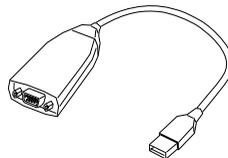


取扱説明書

取扱説明書（本書）



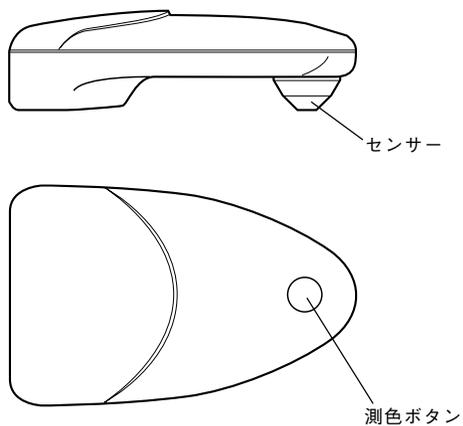
印刷サンプル



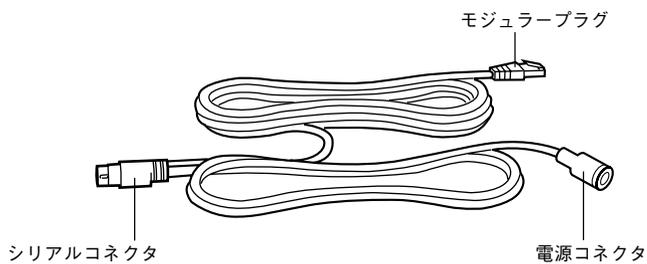
USB- シリアル変換アダプタ
(Macintosh 専用)

各部の名称

キャリブレータ



Yケーブル



◆ セットアップ

キャリブレータをお使いのコンピュータに接続し、ユーティリティソフトウェアをインストールしてください。



ポイント

- キャリブレータをインストールする前に、ポストスクリプトサーバ添付の ColorWise Pro Tools や、EPSON 製ソフトリップがお使いのコンピュータでセットアップされていることを確認してください。セットアップについては、それぞれの製品の取扱説明書を参照してください。
- 本書では、Macintosh での表示画面を使用しています。お使いのコンピュータ画面の表示と多少異なる場合があります。

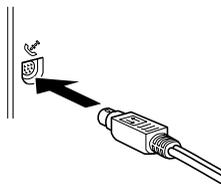
キャリブレータの接続

コンピュータのポートによって接続方法が異なります。お使いになるコンピュータに合った接続方法に従ってください。

Macintoshとシリアル接続する場合

シリアルポートを装備したMacintoshとは以下の手順で接続してください。

- 1 Macintoshの電源をオフにします。
- 2 YケーブルをMacintoshのシリアルポートに接続します。



次に、以下の手順へ進んでください。

📖 本書 10 ページ「キャリブレータ / AC アダプタの接続」

MacintoshとUSB接続する場合



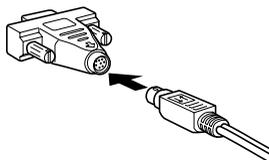
ポイント

はじめてMacintoshとUSB接続する場合は、USBドライバを先にインストールしてから接続作業を行ってください。

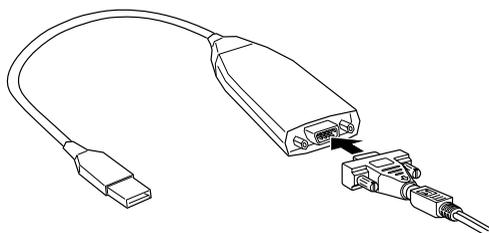
本書 11 ページ「USBドライバのインストール」

USBポートを装備したMacintoshとは以下の手順で接続してください。

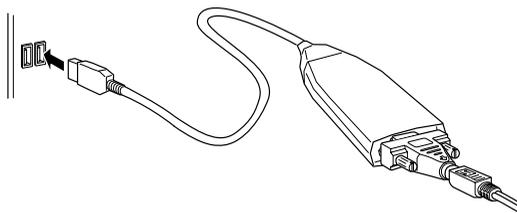
- 1 Macintoshの電源をオフにします。
- 2 Mac-PCシリアル変換アダプタをYケーブルに接続します。



- 3 Mac-PCシリアル変換アダプタをUSB-シリアル変換アダプタのポートに接続して、ネジで固定します。



- 4 USB-シリアル変換アダプタのUSBケーブルをMacintoshのUSBポートかUSBハブに接続します。



次に、以下の手順へ進んでください。

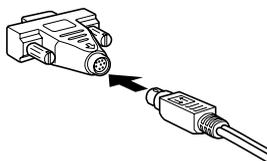
本書 10 ページ「キャリブレータ/ACアダプタの接続」

PCとシリアル接続する場合

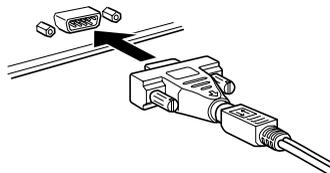
Windowsで動作するコンピュータとは、以下の手順でシリアルポートに接続してください。

1 コンピュータの電源をオフにします。

2 Mac-PC シリアル変換アダプタをYケーブルに接続します。



3 PCのシリアルポートに接続して、ネジを締めて固定します。



ポイント

本製品に添付の「USB-シリアル変換アダプタ」は、Macintosh専用です。
Windowsの場合はUSB接続できません。

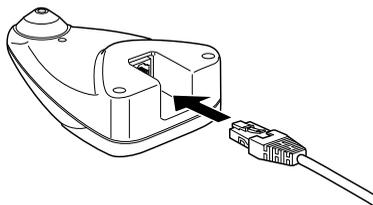
次に、以下の手順へ進んでください。

本書 10 ページ「キャリブレーション / AC アダプタの接続」

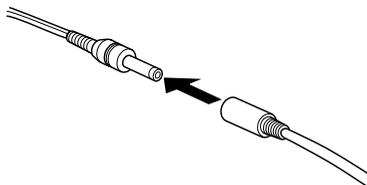
キャリブレータ/ACアダプタの接続

コンピュータ側の接続が終了したら、以下の手順でキャリブレータ側のケーブルを接続して、さらにACアダプタを接続してください。

- 1 Yケーブルのモジュラープラグをキャリブレータの裏面のコネクタに接続します。

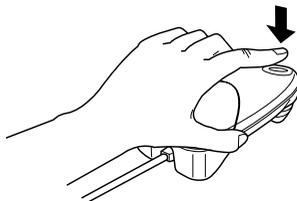


- 2 電源コネクタをACアダプタに接続します。



- 3 ACアダプタの電源コードを電源コンセントに接続します。

- 4 キャリブレータの測色ボタンを押します。
キャリブレータが正しくコンピュータに接続されていれば、キャリブレータのセンサーが光ります。



ポイント

センサーが光らない場合は、電源を確認してください。

次に、ユーティリティソフトウェアをインストールします。

本書 12 ページ「ユーティリティソフトウェアのインストール」

USBドライバのインストール

キャリブレータとMacintoshをはじめてUSB接続する場合は、接続の前に次の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

- 1 Macintoshの電源をオンにします。
- 2 「USB-シリアル変換アダプタ」に添付のCD-ROMを、MacintoshのCD-ROMドライブにセットします。
- 3 CD-ROMアイコンを開き、[Installer]アイコンをダブルクリックしてインストーラを起動します。
「USB-シリアル変換アダプタ」に必要なUSBドライバをインストールします。
- 4 画面の指示に従います。
 - ① インストール開始画面で **Continue** ボタンをクリックします。
 - ② ライセンスの説明画面が現れたら **Continue** ボタンをクリックします。
 - ③ インストール画面で **Install** ボタンをクリックします（[Install Location] は変更しないで、起動ディスクのままにしてください）。
- 5 **Quit** ボタンをクリックしてUSBドライバのインストールを終了します。
- 6 Macintoshを再起動します。

次に、キャリブレータとMacintoshを接続してください。

☞本書8ページ「MacintoshとUSB接続する場合」

ユーティリティソフトウェアのインストール

キャリブレータとコンピュータの接続が終わったら、次の手順に従って、ユーティリティをインストールします。

- 1 コンピュータの電源をオンにします。
- 2 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
- 3 [Color Calibrator]フォルダ内にあるユーティリティのインストーラを起動して、画面上の指示に従います。
 - Macintosh の場合 : [Installer] アイコンをダブルクリックします。
 - Windows の場合 : [Setup.exe] アイコンをダブルクリックします。



ポイント

キャリブレータがコンピュータに接続されていない場合、ユーティリティソフトウェアをインストールすることはできませんが、使用できません。

◆ プリンタキャリブレーション

EPSON カラーキャリブレータは、以下のような場合にお使いください。

- システムを初めてセットアップする場合
- システムを修理した場合
- システムを長期間使用しなかった場合
- 複数のシステムで一貫した印刷を行う場合

印刷システムの色補正は、いくつかの手順に従って行います。本書に掲載する説明の手順に従って、色補正を行ってください。

キャリブレーションシートの印刷

最初に、ColorWise Pro Tools およびEPSON 製ソフトリップでキャリブレーションシートを印刷する必要があります。EPSON 製ソフトリップの場合は、各製品に添付の取扱説明書を参照してください。ここでは、ColorWise Pro Tools を使った手順を説明します。

1 ColorWise Pro Tools ユーティリティを起動します。



ポイント

起動するユーティリティをコンピュータのどこにインストールしたかわからない場合は、インストールを行った担当者にお尋ねいただくか、ポストスクリプトサーバの取扱説明書を参照してください。

2 表示されたダイアログから補正するプリンタ名をクリックして選択し、**選択** ボタンをクリックします。



①選択して ②クリックします

3

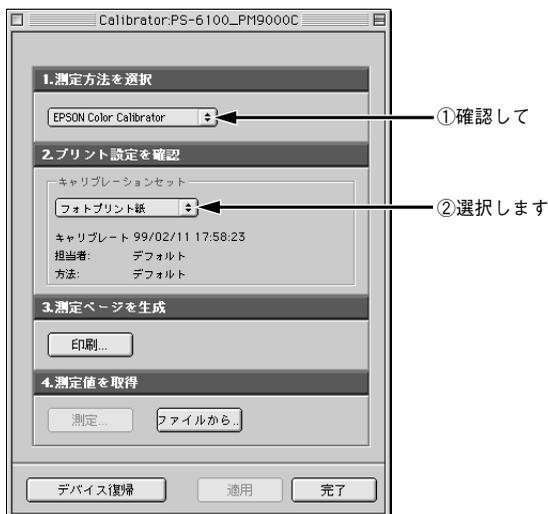
Calibrator ボタンをクリックします。



クリックします

4

[測定方法を選択] リストが選択されていることを確認して、[プリント設定を確認] リストからキャリブレーションシートを印刷するための設定を選択します。



ポイント

- [測定方法を選択] リストは、EPSON ポストスクリプトサーバのモデルによって固定されています。一部の機種（例：PS-6000/6200 など）では「DTP32」と表示されますが、問題なく使用できます。
- [プリント設定を確認] リストで選択できる設定は、プリンタによって異なります。プリンタの取扱説明書を参照してください。なお、ここで選択した設定はキャリブレーションプロファイルの選択時に同じである必要がありますので、書き留めるなどして忘れないようにしてください。
[📖 本書 21 ページ「キャリブレーションプロファイルの選択」](#)

5

〔測定ページを生成〕の印刷ボタンをクリックします。

キャリブレーションシートの印刷が始まります。

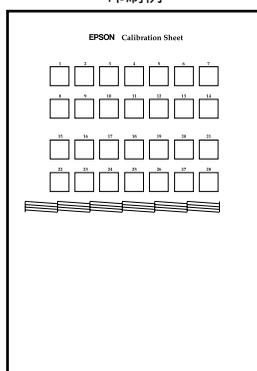


ポイント

- プリンタによっては、さらに〔用紙サイズ〕と〔入カトレイ〕を選択して、印刷ボタンをクリックします。
- プリンタによって印刷されるキャリブレーションシートは異なります。

次のような EPSON キャリブレーションシートが印刷されます。

印刷例



引き続き次の「キャリブレーションの補正」へ進んでください。

キャリブレーションの補正

本製品に添付のキャリブレーションターゲットを測定し、キャリブレーション自体の補正を行います。次の手順に従ってください。

1 [EPSON Color Calibrator]フォルダをダブルクリックして開きます。

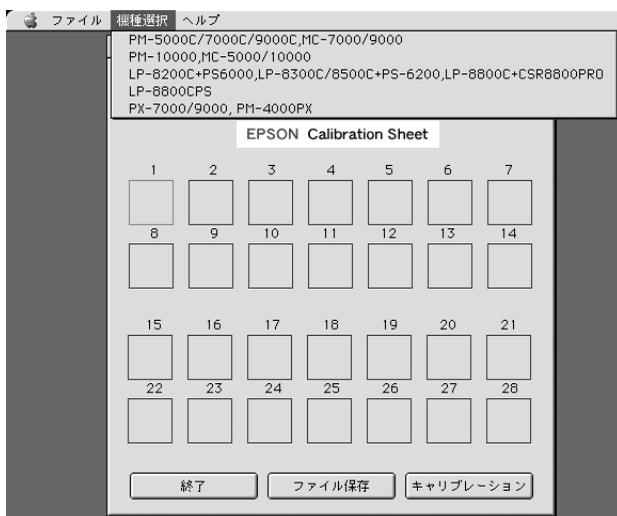
2 [Printer Calibrator] アイコンをダブルクリックして起動します。



ポイント

起動時に接続ポートを選択するダイアログが表示された場合は、キャリブレーションを接続しているポートを選択してください。

3 [機種選択]メニューから使用するプリンタを選択し、変更確認のダイアログが表示されたら **OK** ボタンをクリックします。

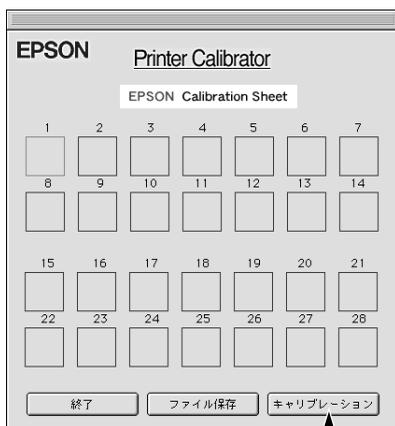


ポイント

表示されている[機種選択]メニューの内容は、CPSソフトリッパPlus用Printer Calibratorのもので、表示されるメニューの内容およびその機能は、使用されるプリンタ・PostScriptサーバ(ソフトウェアRIP)により異なります。

4

キャリブレーション ボタンをクリックして、カラーキャリブレータの補正を開始します。



クリックします

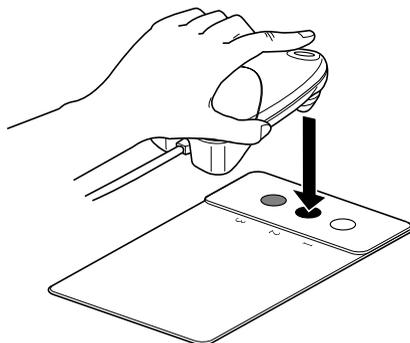


ポイント

- 選択したプリンタによってダイアログは異なります。
 - はじめて起動すると、すぐにキャリブレーションが始まります。
- キャリブレーション** ボタンをクリックしないで、**5** へ進んでください。

5

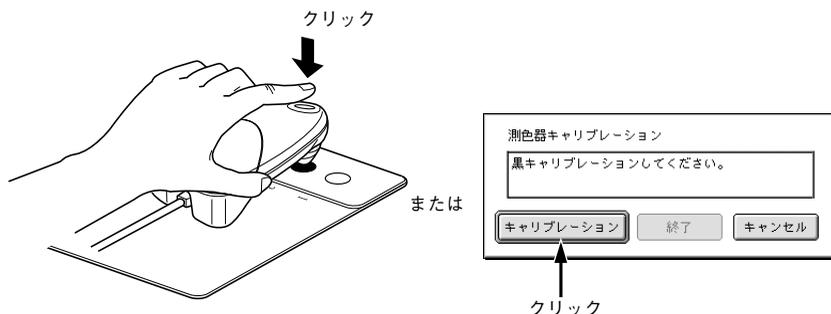
本製品に添付のキャリブレーションターゲットを平らな場所に置き、黒丸にキャリブレータのセンサを合わせます。



ポイント

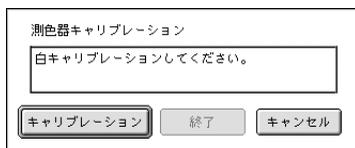
- キャリブレータを水平にし、センサと黒丸がずれないようにしっかり置いてください。

- 6 キャリブレーションの測色ボタンを押すか、画面の **キャリブレーション** ボタンをクリックします。

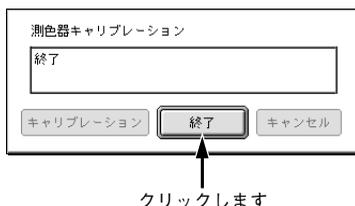


強い光や日射しが直接当たるような場所で測定しないでください。正しく測定できない場合があります。

- 7 黒丸の測定が終了すると、コンピュータのモニタ表示が [白キャリブレーションをしてください] に変わります。センサを白丸に合わせて、6 と同じ方法で色を測定します。



- 8 白丸の測定が終了したら、**終了** ボタンをクリックして Printer Calibrator ユーティリティの画面に戻ります。



Printer Calibrator ユーティリティを終了しないで、そのまま次の作業へ進んでください。

キャリブレーションプロファイルの作成

キャリブレーションプロファイルを作成するには、以下のページで印刷したキャリブレーションシートが必要です。

☞本書 13 ページ「キャリブレーションシートの印刷」

また、以下のページの手順に従ってEPSONカラーキャリブレータが補正されていることを確認してから次の手順に進みます。

☞本書 16 ページ「キャリブレータの補正」

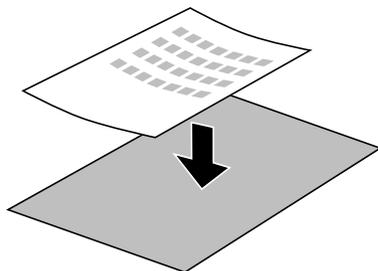
1 本製品に添付の黒い測色台紙を平らな場所に敷き、その上にキャリブレーションシートを置きます。



ポイント

インクジェットプリンタを使ってキャリブレーションシートを印刷した場合は、シートの色が安定するまで最低30分はお待ちください。

なお、PMシリーズのプリンタ（染料インクのプリンタ）をお使いの場合は、2時間以上お待ちいただいてから測色すると、より安定した結果を得ることができます。



2 [Printer Calibrator] ダイアログで、測定したいブロックをクリックして選択します。キャリブレータのセンサを、キャリブレーションシート上の対応するブロック位置に合わせます。



ポイント

- キャリブレータを水平にし、センサとブロックがずれないようにしっかり置いてください。

- 1番のブロックから順番に測定していくと、効率よく作業できます。

3 キャリブレータの測色ボタンを押して、色を測定します。



ポイント

強い光や日射しが直接当たるような場所で測定しないでください。正しく測定できない場合があります。

4 手順 **2** から **3** をくり返して、キャリブレーションシートのすべてのブロックで測定します。測定がすべて終了したら、**ファイル保存** ボタンをクリックします。



ポイント

すべてのブロックの測定を終了しないと、ファイルは保存できません。

5 保存するファイルに名前を付けて保存先のフォルダを選択したら、**保存** ボタンをクリックします。

キャリブレーションプロファイルが作成されました。次の手順に進んでください。

キャリブレーションプロファイルの選択

作成したキャリブレーションプロファイルは、使用できるようにColorWise Pro ToolsおよびEPSON製ソフトリップで選択する必要があります。EPSON製ソフトリップの場合は、各製品に添付の取扱説明書を参照してください。ここでは、ColorWise Pro Toolsを使った手順を説明します。

- 1 ColorWise Pro Toolsユーティリティが終了しているときは、起動します。



起動するユーティリティをコンピュータのどこにインストールしたかわからない場合は、インストールを行った担当者にお尋ねいただくか、ポイント ポストスクリプトサーバの取扱説明書を参照してください。

- 2 表示されたダイアログから補正するプリンタ名をクリックして選択し、**選択** ボタンをクリックします。



①選択して ②クリックします

- 3 **Calibrator** ボタンをクリックします。



クリックします

- 4 **ファイルから** ボタンをクリックします。

5 保存したキャリブレーションプロファイルを選択し、**開く** ボタンをクリックします。

6 プロファイルが正しく読み込まれたことが表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。

7 [プリント設定を確認] で表示されている項目がキャリブレーションシートを印刷したときと同じであることを確認してから、**適用** ボタンをクリックします。

読み込んだプロファイルが使用できるようになります。



ポイント

- キャリブレーションシート印刷時と異なる設定を選択したまま **適用** ボタンをクリックすると、期待通りのキャリブレーション効果は得られません。キャリブレーションシート印刷後に ColorWise Pro Tools ユーティリティを一旦終了すると、ユーティリティの設定が初期設定に戻り、結果として設定が変わってしまう可能性がありますので特に注意が必要です。異なる設定が選択されている場合は、[プリント設定を確認 (キャリブレーションセット)] リストから設定を選択し直してください。

📖 本書 13 ページ「キャリブレーションシートの印刷」

- 設定を初期値に戻すには、**デバイス復帰** ボタンをクリックします。メッセージが表示されたら **OK** ボタンをクリックすると、工場出荷時の初期設定値に戻ります。

印刷プロファイルの補正

カラーチャートの印刷

お使いのポストスクリプトサーバおよびEPSON製ソフトリップを、最終的に使用する印刷機に合わせて補正するには、その印刷機で実際に印刷したプリントアウトが必要です。

標準カラーチャートの印刷

本製品に添付の標準カラーチャートを、実際に使用する印刷機で印刷してください。標準カラーチャートは、[EPSON Color Calibrator] フォルダ内の [チャートフォルダ] に、[CHART35.EPS]、[CHART35.TIFF]、[CHART140.EPS] および [CHART140.TIFF] の名前が入っています。印刷する際は、以下の点に注意してください。

- 最終印刷物と同じ用紙で印刷してください。
- 35色用の [CHART35.xxx] より 140色用の [CHART140.xxx] の方が、より精度の高いプロファイルが作成できます。[xxx.EPS] と [xxx.TIFF] は保存形式が異なるだけで、チャートそのものはまったく同じです。

添付の標準カラーチャートを印刷した場合は、以下のページへ進んでください。
☞本書 24 ページ「標準カラーチャートを使用する場合」

カスタムカラーチャートの印刷

最終印刷機で印刷した任意のカスタムカラーチャートも利用できます。ただし、以下の条件を満たしている必要があります。

- 最終印刷物と同じ用紙で印刷していること
- 色の濃度が百分率 (%) でわかること
- CMYK 各色同一の濃度域が印刷してあること (濃度 100% は必ず必要です。濃度 100% を含めて 5 段階以上の濃度がある場合は任意の濃度を選んで測定します。)

カスタムカラーチャートを使用する場合は、以下のページへ進んでください。
☞本書 29 ページ「カスタムカラーチャートを使用する場合」

印刷サンプルの使い方

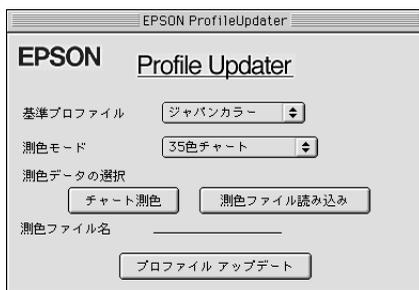
本製品に添付の印刷サンプルの下部には35/140色カラーチャートが印刷されています。このカラーチャートをキャリブレータで測色してProfile Updaterでプロファイルを更新すると、印刷サンプルに近い色をポストスク립トサーバおよびEPSON製ソフトリップで再現することができ、その効果を確認することができます。

なお、印刷サンプルの元データファイルは、[印刷サンプル] フォルダ内に [サンプル.EPS] および [サンプル.TIFF] の名前が入っています。

印刷プロファイルの更新

標準カラーチャートを使用する場合

- 1 [EPSON Color Calibrator]フォルダをダブルクリックして開きます。
- 2 [Profile Updater] アイコンをダブルクリックして起動します。
次のダイアログが表示されます。



ポイント

起動時に接続ポートを選択するダイアログが表示された場合は、キャリブレータを接続しているポートを選択してください。

3 [基準プロファイル] リストから、印刷機で使用しているICCプロファイルを選択します。

使用するプロファイルがリストに見つからない場合は、印刷を行う地域に対応したプロファイルを選択します。

ICC プロファイル	印刷地域
ジャパンカラー	アジア
SWOP	南北アメリカ
EURO	ヨーロッパ

4 [測色モード] リストから [35色チャート] または [140色チャート] を選択します。

- 標準添付の [CHART35.EPS] または [CHART35.TIFF] を印刷した場合は、[35色チャート] を選択します。
- 標準添付の [CHART140.EPS] または [CHART140.TIFF] を印刷した場合は、[140色チャート] を選択します。

5 **チャート測色** ボタンをクリックします。

- 初めて測色する場合は、自動的にキャリブレーションの補正が始まります。
- 次回キャリブレーションを行う場合は、[チャート測色] ダイアログの **キャリブレーション** ボタンをクリックします。

6 本製品に添付のキャリブレーションターゲットを平らな場所に置き、黒丸にキャリブレーションのセンサを合わせます。



ポイント

キャリブレーションを水平にし、センサと黒丸がずれないようにしっかり置いてください。

7 キャリブレーションの測色ボタンを押すか、画面の **キャリブレーション** ボタンをクリックします。



ポイント

強い光や日射しが直接当たるような場所で測定しないでください。正しく測定できない場合があります。

- 13** 手順 11 から 12 をくり返して、標準カラーチャートのすべてのブロックで測定します。測定がすべて終了したら、**終了** ボタンまたは **ファイル保存** ボタンをクリックします。

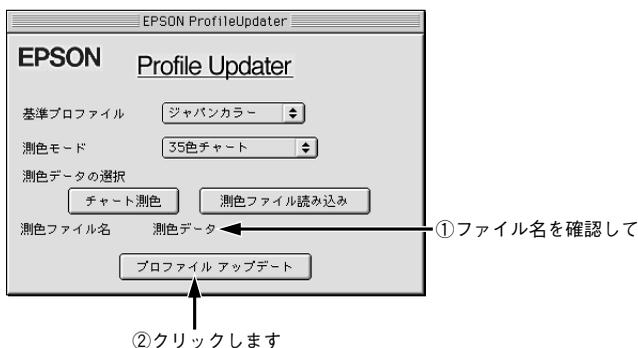


ポイント

すべてのブロックの測定を終了しないと、ファイルは保存できません。

- 14** 保存するファイルに名前を付けて保存先のフォルダを選択したら、**保存** ボタンをクリックします。

- 15** ファイルが保存されてファイル名が [測色ファイル名] に表示されたら、**プロファイルアップデート** ボタンをクリックします。



(このダイアログは [測色データ] とファイル名を付けた例です。)

16 保存するファイルに名前を付けて所定のフォルダを選択したら、**保存** ボタンをクリックします。

新しいプロファイルは、必ず以下の所定のフォルダに保存してください。

Macintosh の場合 : システムフォルダ / ColorSync 特性
または
システムフォルダ / 初期設定 / ColorSync 特性

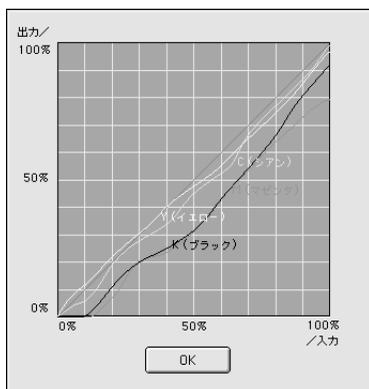
Windows の場合 : C:\¥WINDOWS¥SYSTEM¥Color



ポイント

- 上記は C ドライブの場合です。ディスクドライブが異なる場合は、ディスクドライブ名を変えてください。
- 保存するファイルの名前は半角英数字を使用してください。それ以外では、Profile Manager の [説明] ボックス上にプロファイル名が正しく表示されません。

17 プロファイルのアップデートが正しく行われると、プロファイルカーブチャートが表示されます。



18 **OK** ボタンをクリックします。

新しいプロファイルが使用できるようになりました。以下のページへ進んでください。

本書 50 ページ「更新した印刷プロファイルを使用するには」

カスタムカラーチャートを使用する場合

本製品に添付の標準(35色、140色)カラーチャート以外のカスタムカラーチャートを最終印刷機で印刷して使用する場合も、印刷プロファイルを更新することができます。

カスタムカラーチャートを使用する場合は、以下の手順に従ってカスタムカラーチャートに関する情報を設定してください。

- 1 [EPSON Color Calibrator]フォルダをダブルクリックして開きます。
- 2 [Profile Updater] アイコンをダブルクリックして起動します。
- 3 [測色モード] リストから [カスタムチャート] を選択します。
- 4 カスタムカラーチャートに印刷した色の濃度が0から100%の間で何段階に分かれているかを [ステップ数] に入力します。
4段階以上ある場合は、4と入力します。

ステップ数を入力します

カスタムチャート設定

4 ステップ数 (0~4)

ステップ 1 2 3 4

0% 10% 20% 40% 70% 100%

キャンセル 設定

- 5** 各段階の色濃度（パーセント値）を、対応する各ボックスに入力します。色濃度が合計6段階以上に分かれている場合は、適当に4つの色濃度を選択して入力します。

カスタムチャート設定

4 ステップ数 (0~4)

ステップ 1 2 3 4

0% 10% 20% 40% 70% 100%

キャンセル 設定

各段階の色濃度（パーセント値）を入力します

- 6** 数値を入力したら、**設定** ボタンをクリックします。
- 7** これ以降の手順は標準カラーチャートを使用する場合と同じです。以下のページの **5** 以降の手順に従ってください。
本書 24 ページ「標準カラーチャートを使用する場合」
- 4** 左側の [説明] ボックスから使用する印刷プロファイル名をクリックして選択します。

EPSON ProfileAdjuster

EPSON ProfileAdjuster とは EPSON Profile Updater で作成した ICC プロファイルに対してより品質を向上させるために、プロファイルを修正するアプリケーションです。

全体的もしくは部分的な色味の修正、あるいは両方の修正が必要な場合にご使用下さい。



ポイント

- 修正を繰り返し行くとプロファイル全体のバランスが崩れ、品質が悪くなる場合があります。
全体の色調、バランスを確認しながら修正を行ってください。
- EPSON ProfileAdjuster は EPSON Profile Updater で作成した印刷プロファイルの修正を行うアプリケーションです。EPSON Profile Updater で作成したプロファイル以外の印刷プロファイルに編集を行った場合、不具合が生じる恐れがあります。

データの準備

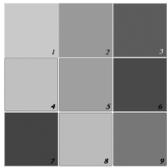
EPSON ProfileAdjuster を使用するためには、以下のものがが必要です。

1. ターゲットとなる印刷物
2. EPSON Profile Updater で作成した印刷プロファイル
3. 2で作成した印刷プロファイルを使用して印刷シミュレーションをしたプリンタの出力

チャートの準備

ここからは添付の印刷サンプルとそれをEPSON Profile Updater でシミュレーションした出力物を使用した説明ですすめていきます。

EPSON Profile Adjuster を使って印刷プロファイルを修正するためには、Adjuster チャートをご使用ください。EPSON Profile Updater 用のチャートと同様に印刷してください。チャートデータは [チャート] フォルダに入っています。EPSON Profile Adjuster で印刷プロファイルを修正する場合、Adjuster チャート以外の任意のチャートでも修正が可能です。Adjuster チャートデータの1～3は全体修正（詳細）モード、1～9は部分修正モードで使用してください。4～9は印刷で重要視されている肌色、紺色、茶色をピックアップしています。



No.	C (%)	M (%)	Y (%)	K (%)
1	20	20	20	0
2	40	40	40	0
3	70	70	70	0
4	0	40	40	0
5	20	50	50	0
6	90	80	0	0
7	80	90	0	0
8	0	40	90	0
9	20	80	90	0

設定

1 EPSON Profile Adjuster を起動します。



Macintosh

2 [環境設定] メニューから変換方法を選択します。



- 紙白を保持する： CMYK=0%の部分に対して、色味の修正を行いません（初期設定）。
- 紙白を保持しない： CMYK=0%の部分も、他の色と同様に修正を行いません。
- 明度を保持する： 画像の「明るさ」に対して、修正を行いません。
- 明度を保持しない： 画像の「明るさ」も、色相と同様に修正を行いません（初期設定）。
- スムーズ処理をする： 階調を滑らかに修正します。
- スムーズ処理をしない： 階調を修正しません（初期設定）。

3

色の修正方法を3つのモードから選択します。

「全体修正モード（簡易）」

画像全体の色味を、目視で簡単に修正します。

（例）全体に赤味を強くしたい、黄味を減らしたい場合等に使用します。

「全体修正モード（詳細）」

EPSON ProfileAdjuster チャートの Gray3 箇所（1～3）を測色し、画像全体の色味を修正します。3箇所未満の測色でも、チャート以外の測色でも全体修正が可能です。

詳細モードではプロファイル修正の処理を2回行い、マッチング精度を高めます。

「部分修正モード」

画像全体の色味はそのまま、部分的な色を測色器を使用して修正します。10箇所までの変更が可能です。

部分修正モードも「全体修正モード（詳細）」と同様にプロファイル修正の処理を2回行い、マッチング精度を高めます。

（例）空の青味を修正したい、肌色を修正したい場合等に使用します。



ポイント

- 下記のような場合に、EPSON Profile Adjusterを使用して品質を向上させてください。

■印刷物（ターゲット）と印刷シミュレーションされたプリンタの出力物を比較した場合に

Case1：色が合っている。

→ EPSON Profile Updater で作成したプロファイルそのまま使用。

Case2：全体的に色が合っていない。（全体的に色味を修正したい）

→ 「全体修正（簡易）」

Case3：全体的に色が合っていない。（全体的に色味を修正したい）

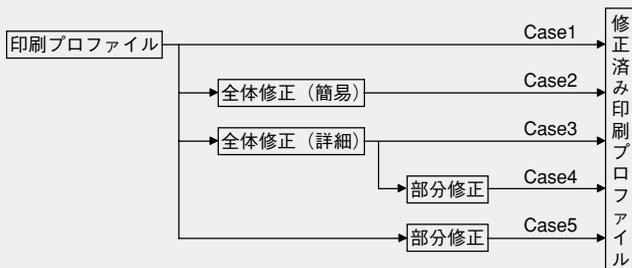
→ 「全体修正（詳細）」（測色器を使用します。）

Case4：全体修正（詳細）後も、部分的に色が合っていない。（絵柄の部分的な色味を修正したい）

→ 「全体修正（詳細）」に続いて「部分修正」

Case5：全体的には良いが、部分的に色が合っていない。（絵柄の部分的な色味のみを修正したい）

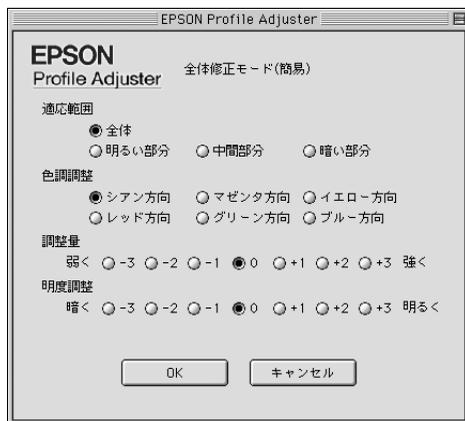
→ 「全体修正（詳細）」をせずに「部分修正」



- 「EPSON Profile Adjuster」で測色器を使用した修正（全体修正（詳細）、部分修正）を行う場合、プロファイルを修正する為に2度プロファイル作成を行います。ただし、1度目に作成したプロファイルを使用した印刷シミュレーション結果で十分な修正が行われている場合には、2度目のプロファイル作成は必要ありません。

1 「全体修正モード(簡易)」で修正する

1 修正方法を各項目についてボタンをクリックして選択します。



適応範囲：修正する範囲を選択します。

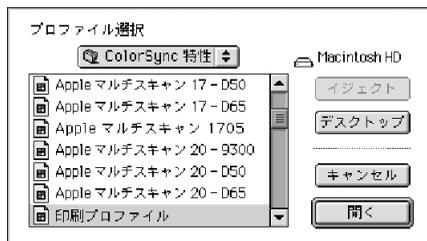
色調調整：どの色相方向へ修正するかを選択します。

調整量：修正の強弱を±3段階で選択します。

明度調整：明るさについて修正の強弱を±3段階で選択します。

2 選択を終えた後 **OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻ります。

3 [プロファイル選択] をクリックし、修正する印刷プロファイルを選択します。



4

修正後のプロファイルを保存します。ファイル名はデフォルトで選択したプロファイルの後に日付が入ります。

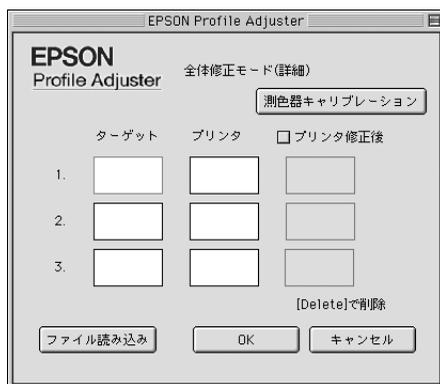
Macintosh の場合は [ColorSync 特性] フォルダ内に保存します。

Windows の場合は [Color] フォルダ内に保存します。



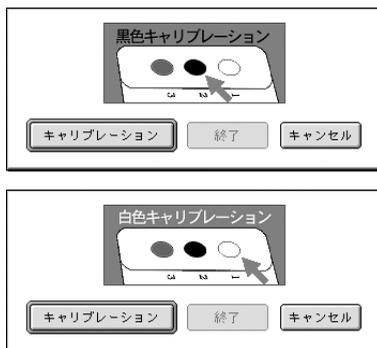
修正した印刷プロファイルを使用して出力してください。

2 「全体修正モード(詳細)」で修正する



1 **測色器キャリブレーション** ボタンをクリックします。

2 黒・白の順に測色器キャリブレーションを行います。



ポイント

- 測色器キャリブレーション時には、必ず添付のキャリブレーションターゲットをご使用下さい。
- 測色器キャリブレーションはアプリケーション起動時に一度行ってください。測色前に必ず行う必要はありませんが、測色結果の画面表示色とチャートの色が全く異なっている場合には、再度**測色器キャリブレーション**ボタンをクリックし、測色器のキャリブレーションを行い、はじめから測色しなおしてください。

- 3 [ターゲット] を選択し、印刷した Adjuster チャートの 1～3 を測色します。Adjuster チャートを使用しない場合は、印刷物の修正したい部分を 3 箇所測色します。(測色をやり直す場合は [delete] キーで削除できます。)



ポイント

任意の色を修正する場合に測色する色は直径 4mm 以上が必要です。

- 4 [プリンタ] を選択し、プリンタ出力物について印刷物と同じ 3 箇所を測色します。

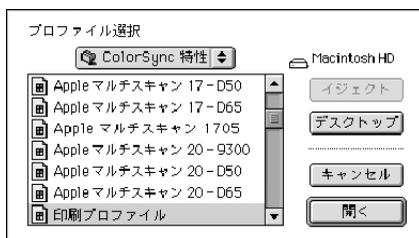
- 5 [ターゲット] と [プリンタ] の測色が完了したら、[OK] ボタンをクリックし、測色したデータを保存してメイン画面に戻ります。



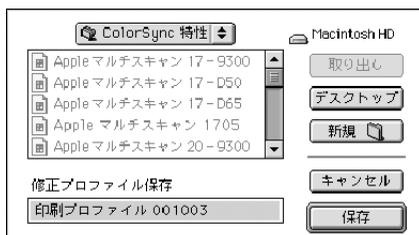
ポイント

測色したデータは、各列の内容が揃っていないと保存することができません。

- 6 メイン画面の [プロファイル選択] をクリックし、修正する印刷プロファイルを選択します。



- 7 修正後のプロファイルを保存します。ファイル名はデフォルトで選択したプロファイルの後に日付が入ります。

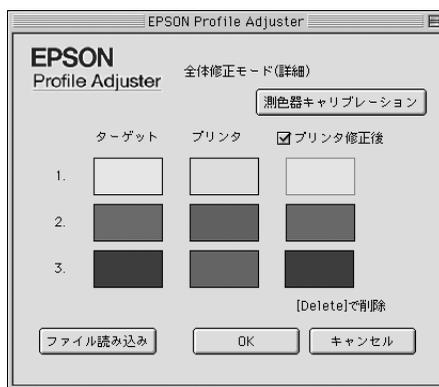


修正した印刷プロファイルを使用して、再度出力してください。

- 8 [全体修正 (詳細モード)] をクリックして、[全体修正 (詳細モード)] 画面に移ります。

- 9 [ファイル読み込み] をクリックして 5 で保存したデータを読み込みます。

- 10 [プリンタ修正後] を選択して、修正したプロファイルを使用して出力したサンプルを測色します。(4 と同じ 3 個所の測色をします。)



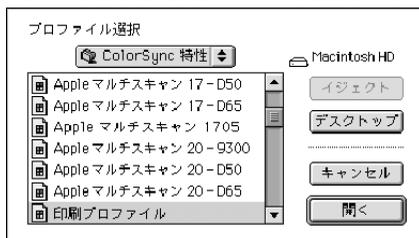
- 11** [プリンタ修正後]の測色が完了したら、**OK** ボタンをクリックし、測色したデータを保存してメイン画面に戻ります。



ポイント

測色したデータは、各列の内容が揃っていないと保存することができません。

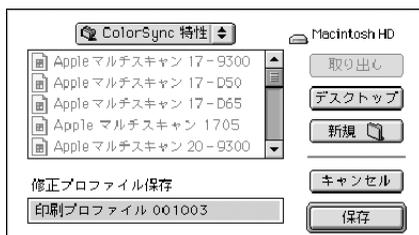
- 12** [プロファイル選択] を選択し、**6** と同じ印刷プロファイルを再度、選択します。



ポイント

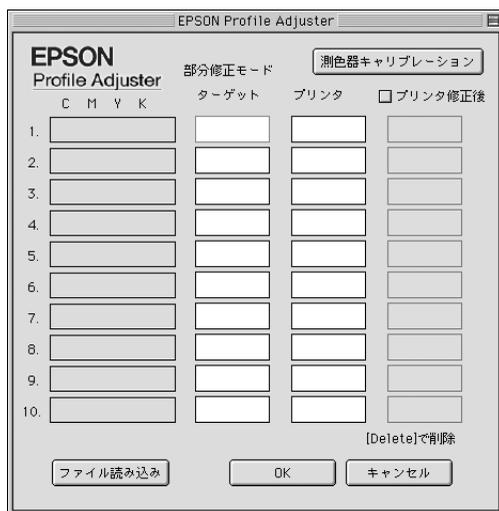
プロファイルは必ず **6** と同じものを選択してください。

13 修正後のプロファイルを保存します。ファイル名はデフォルトで選択したプロファイルの後に日付が入ります。



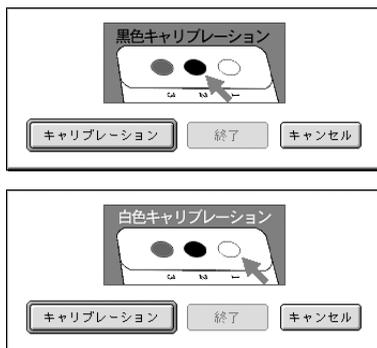
修正した印刷プロファイルを使用して、再度出力して出力結果を確認してください。

3 「部分修正モード」で修正する



Macintosh

- 1 **測色器キャリブレーション** ボタンをクリックします。
- 2 黒・白の順に測色器キャリブレーションを行います。



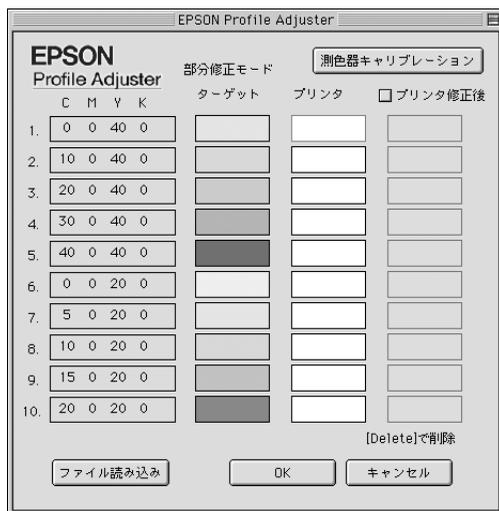


ポイント

- 測色器キャリブレーション時には、必ず添付のキャリブレーションターゲットをご使用下さい。
- [測色器キャリブレーション] はアプリケーション起動時に一度行ってください。測色前に必ず行う必要はありませんが、測色結果の画面表示色とチャートの色が全く異なっている場合には、再度 [測色器キャリブレーション] ボタンをクリックし、測色器のキャリブレーションを行い、はじめから測色しなおしてください。

3

ターゲットを選択し、印刷した Adjuster チャートの 1～9 を測色します。Adjuster チャートを使用しない場合は、印刷物の修正したい任意の部分を測色します。測色数は 1～10 までの任意の数の測色ができます。(測色をやり直す場合は [delete] キーで削除できます。)



ポイント

部分修正を行う場合に測色する色は直径 4mm 以上が必要です。

4

[プリンタ] を選択し、プリンタ出力物について印刷物と同じ箇所を測色します。

5 印刷物の測色した場所のCMYK値（画像データの値）0～100%をテキストボックスへ入力してください。

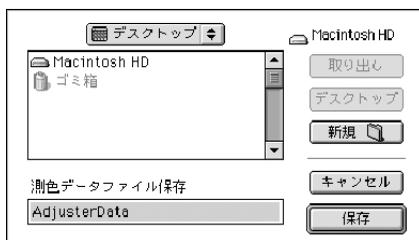


ポイント

MacintoshではCMYK値入力の際にダイアログが表示されるので各ボックスに入力してください。

Windowsでは直接入力できます。

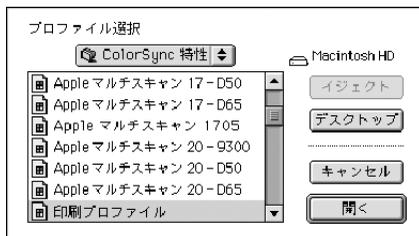
6 [ターゲット]と[プリンタ]の測色が完了したら、**OK**ボタンをクリックし、測色したデータを保存してメイン画面に戻ります。



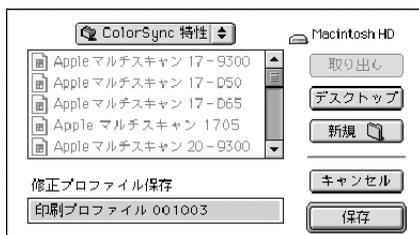
ポイント

測色したデータは、各列の内容が揃っていないと保存することができません。

7 メイン画面の[プロファイル選択]をクリックし、修正する印刷プロファイルを選択します。



- 8 修正後のプロファイルを保存します。ファイル名はデフォルトで選択したプロファイルの後に日付が入ります。

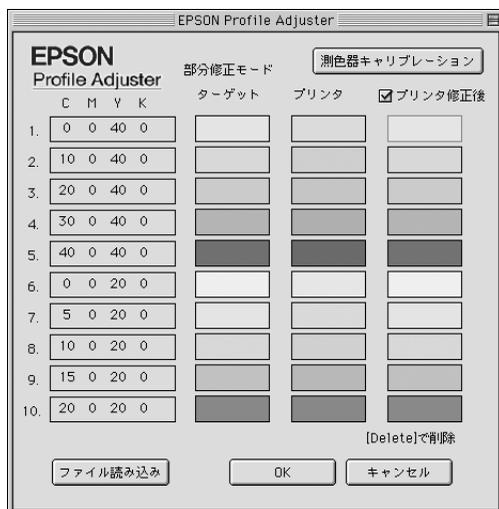


修正した印刷プロファイルを使用して、再度出力してください。

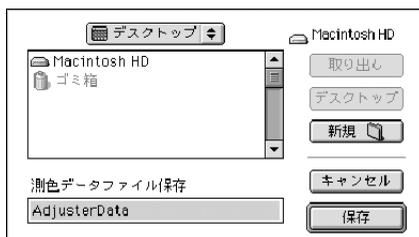
- 9 [部分修正] をクリックして、[部分修正] 画面に移ります。

- 10 [ファイル読み込み] をクリックして 6 で保存したデータを読み込みます。

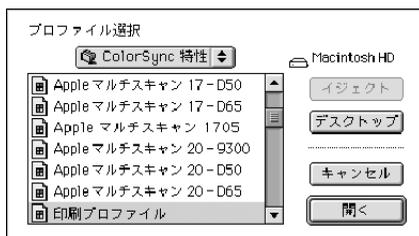
- 11 [プリンタ修正後] を選択して、修正したプロファイルを使用して出力したサンプルの測色します。(4 と同じ 3 個所の測色をします。)



- 12** [プリンタ修正後]の測色が完了したら、**OK** ボタンをクリックし、測色したデータを保存してメイン画面に戻ります。



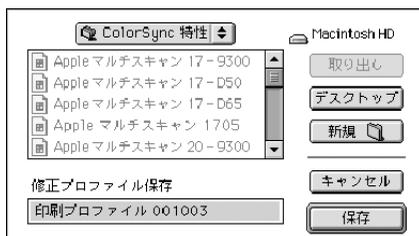
- 13** メイン画面の[プロファイル選択]をクリックし、**7**と同じ印刷プロファイルを再度、選択します。



ポイント

選択するプロファイルは **7** と同じプロファイルにしてください。 **8** で作成したプロファイルを選択すると EPSON ProfileAdjuster が正しく機能しません。

- 14** 修正後のプロファイルを保存します。ファイル名はデフォルトで選択したプロファイルの後に日付が入ります。



修正した印刷プロファイルを使用して、再度出力してください。



ポイント

部分修正モードで2回目の修正を行いプロファイルを保存する時、印刷物と出力したサンプルの色差が大きい場合警告を表示します。

警告！！

 プロファイルの修正量が大きいので、画像の階調を損なうおそれがあります。修正量を制限しますか？

No. 1		C	M	Y	K
		0	0	40	0 %

色差が大きい色の測色番号と印刷物の CMYK 値を表示します。

制限する： プロファイルの修正量を制限するので階調を損なわずに修正します。

制限しない： プロファイルの修正量が大きいのでそのままプロファイル修正を行うと階調が損なわれる恐れがあります。

付録:チャートデータのCMYK値について

EPSON ProfileAdjuster で使用するAdjusterチャートのCMYK値は下記の通りです。

Adjuster チャート CMYK 値

番号	[%]				番号	[%]			
	C	M	Y	K		C	M	Y	K
1	20	20	20	0	6	90	80	0	0
2	40	40	40	0	7	80	90	0	0
3	70	70	70	0	8	0	40	90	0
4	0	40	40	0	9	20	80	90	0
5	20	50	50	0					

印刷重要色 (例)

No.1 : グレー 1

No.2 : グレー 2

No.3 : グレー 3

No.4 : 肌 1

No.5 : 肌 2

No.6 : 紺 1

No.7 : 紺 2

No.8 : 木目色 1

No.9 : 木目色 1

更新した印刷プロファイルを使用するには

更新した印刷プロファイルは、使用できるように ColorWise Pro Tools およびEPSON製ソフトリップで登録する必要があります。EPSON製ソフトリップの場合は、各製品に添付の取扱説明書を参照してください。ここでは、ColorWise Pro Tools を使った手順を説明します。

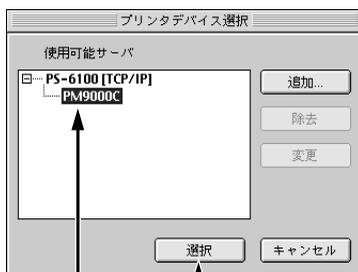
1 ColorWise Pro Tools ユーティリティを起動します。



ポイント

起動するユーティリティをコンピュータのどこにインストールしたかわからない場合は、インストールを行った担当者にお尋ねいただくか、ポストスクリプトサーバの取扱説明書を参照してください。

2 表示されたダイアログから補正するプリンタ名をクリックして選択し、**選択** ボタンをクリックします。



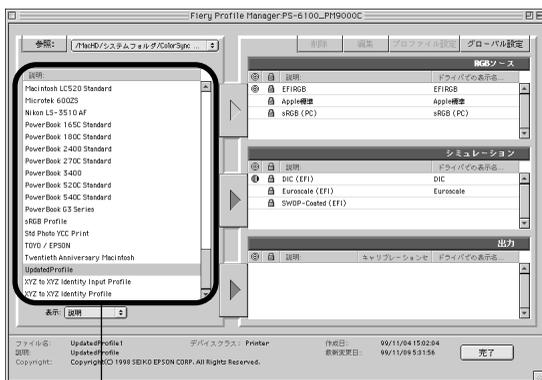
① 選択して ② クリックします

3 **Profile Manager** ボタンをクリックします。



クリックします

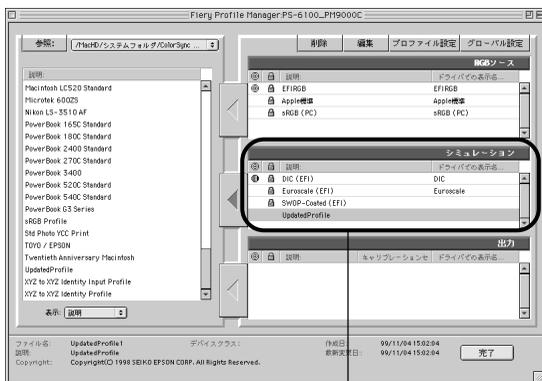
- 4 左側の [説明] ボックスから使用する印刷プロファイル名をクリックして選択します。



印刷プロファイル名を選択します

- 5 [Profile Manager] シミュレーションウィンドウの中央にある緑色の三角マークをクリックします。プロファイルが正しくダウンロードされたかどうかを確認するメッセージが表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。

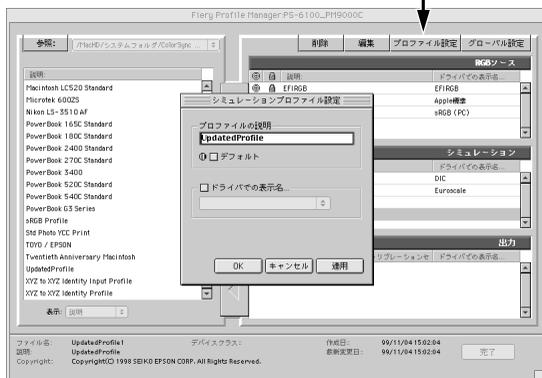
- 6 右側の [シミュレーション] ウィンドウに表示された新しい印刷プロファイル名をクリックします。緑色の矢印の方向が逆になります。



印刷プロファイル名を選択します

- 7 右側のウィンドウの**プロファイル設定** ボタンをクリックします。
[シミュレーションプロファイル設定] ダイアログが表示されます。

クリックします



- 8 [ドライバでの表示名] チェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、表示名を [シミュレーション1] から [シミュレーション10] の中から選択します。

- 9 **適用** ボタンをクリックします。
選択した表示名がほかのプロファイルですでに使用されている場合は、別の表示名を選択するようにメッセージが表示されます。

- 10 **OK** ボタンをクリックします。次に **完了** ボタンをクリックして、Profile Manager を終了します。



ポイント

- ColorWise Pro Toolsについては、このユーティリティの取扱説明書を参照してください。
- 登録した印刷プロファイルを利用した印刷方法については、ご使用のポストスクリプト製品の取扱説明書を参照してください。

CS-Calculatorについて

CS-Calculatorは、キャリブレーションから得られる色測値を表示するためのユーティリティです。2つの [色測ウィンドウ 1/2] とそれぞれのウィンドウ間の差分値、色差などを表示する [評価ウィンドウ] から構成されています。

CS-Calculatorのインストール

次の手順に従って、ユーティリティをインストールします。

- 1** コンピュータの電源をオンにします。
- 2** 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 3** [CS-Calculator] フォルダ内にあるユーティリティのインストーラを起動して、画面上の指示に従います。
 - Macintoshの場合 : [CS-Calculator Installer] アイコンをダブルクリックします。
 - Windowsの場合 : [Setup.exe] アイコンをダブルクリックします。



ポイント

キャリブレーションがコンピュータに接続されていない場合、ユーティリティソフトウェアをインストールすることはできませんが、使用できません。

測定環境の設定

CS-Calculator を起動すると測色環境の設定ダイアログが表示されます。



起動時に接続ポートを選択するダイアログが表示された場合は、キャリブレーションを接続しているポートを選択してください。

以下の設定ができます。

色空間 : L*a*b*、XYZ、Yxy、sRGB、LCH、L*u*v*、StatusT、StatusA、StatusI、StatusE

光源 : A、C、D50、D55、D65、D75、F2、F7、F11、F12

環境視野 : 2°、10°



- 分光モード、濃度モードでは、光源、環境視野の設定は必要ありません。
- キャリブレーションは分光モードに対応していません。

キャリブレーション

正しく測色するには、キャリブレータ自体を補正する必要があります。
測色する前に必ず補正を行ってください。

- 1 **【設定】メニューから【測色器キャリブレーション】を選択します。**
初めてCS-Calculatorを起動すると、キャリブレーションが要求されます。



- 2 **本製品に添付のキャリブレーションターゲットを平らな場所に置き、黒丸にキャリブレータのセンサを合わせます。**



ポイント

キャリブレータを水平にし、センサと黒丸がずれないようにしっかり置いてください。

- 3 **【キャリブレーション】ボタンをクリックします。**



ポイント

強い光や日射しが直接当たるような場所で測定しないでください。正しく測定できない場合があります。

- 4 **黒丸の測定が終了すると、コンピュータのモニタ表示が【完了しました。】に変わります。【完了】ボタンをクリックします。**

- 5 **センサを白丸に合わせて、3と同じ方法で白丸を測定します。**

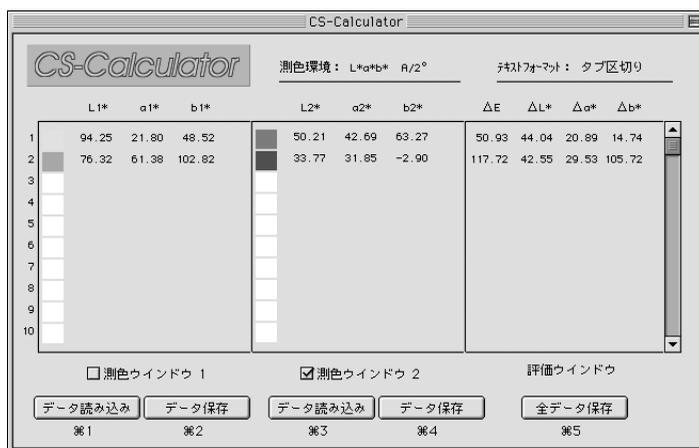
- 7 **白丸の測定が終了すると、コンピュータのモニタ表示が【完了しました。】に変わります。【完了】ボタンをクリックします。**

CS-Calculatorユーティリティを終了しないで、そのまま次の作業へ進んでください。

測色するには

- 1 [測色ウィンドウ1] または [測色ウィンドウ2] をクリックして、測色データを表示させたいウィンドウを選択します。
 - 2 測色するサンプルの上にキャリブレーションを置きます。
 - 3 キャリブレーションの測色ボタンを押します。
[編集] メニューから [測色] を選択して測色することもできます。
-  強い光や日射しが直接当たるような場所で測定しないでください。正しく測定できない場合があります。

ポイント
- 4 測色が終了すると、測色データは選択されたウィンドウに表示されます。各ウィンドウとも、最大 100 ポイントまで測色できます。



[評価ウィンドウ]について

測色モード	評価ウィンドウ	説明
L*a*b*	$\Delta E, \Delta L^*, \Delta a^*, \Delta b^*$	2つの測色ウィンドウ間の色差を表示します。
L*u*v*	$\Delta E, \Delta L^*, \Delta u^*, \Delta v^*$	
XYZ	X1-X2, Y1-Y2, Z1-Z2	2つの測色ウィンドウ間の差分値を表示します。
Yxy	Y1-Y2, x1-x2, y1-y2	
LCH	L1-L2, C1-C2, H1-H2	
sRGB	R1, G1, B1/R2, G2, B2	各ウィンドウのsRGB値(0~1)を0~255へ変換して表示します。
StatusT, A, I, E	C1-C2, M1-M2, Y1-Y2, V1-V2	2つの測色ウィンドウ間の差分値を表示します。

測色データの保存/読み込み

テキストフォーマットの設定

CS-Calculatorウィンドウに表示するデータは、テキストファイルに保存できます。最初に、保存形式（タブ区切り、スペース区切り、カンマ区切り）を選択してください。

[設定] メニューから [テキストフォーマット設定] を選択します。保存形式をクリックして選択し、**設定** ボタンをクリックします。



データの保存

CS-Calculatorウィンドウに表示するデータを保存するには、各ウィンドウの下にある **データ保存** ボタンや **全データ保存** ボタンをクリックします。（[ファイル] メニューの [データ保存] から、[ウィンドウ 1]、[ウィンドウ 2] または [全データ] を選択して、保存することもできます。）



保存ダイアログが表示されたら、保存先を選択してファイル名を付け、**保存** ボタンをクリックします。全データを保存すると、[測色ウィンドウ 1] と [測色ウィンドウ 2] の測色データと、[評価ウィンドウ] の評価値を 1 つのファイルに保存します。

テキストファイルについて

測色データは、以下のように保存されます。

[測色ウィンドウ1/2]のデータ保存ファイル

コメント部分	% CS-Calculator Ver 1.0					測色環境
	% Density mode Status T					
	% comma					テキストフォーマット
	#5					データ数
	0.5092	0.2918	0.7441	0.4006		
	0.4896	0.5483	0.5064	0.5337		
	0.1058	0.5395	0.6104	0.2949		
	0.6453	0.9812	0.5984	0.8237		
	0.0764	0.1273	0.1525	0.1115		
	C	M	Y	V		

全データ保存ファイル

[測色ウィンドウ1]と[測色ウィンドウ2]の測色データと[評価ウィンドウ]の評価値を1つのファイルに保存します。

% CS-Calculator Ver 1.0											コメント部分
% L*a*b* mode D50 2											
% tab AllData 全データ識別のためのコメント											
% 5											
84.859	-0.903	4.006	72.323	37.932	27.006	46.843	12.536	38.835	23.000		
44.446	34.268	-27.151	61.040	4.716	-4.696	40.656	16.594	29.552	22.455		
66.430	-0.749	-0.429	70.575	-31.606	38.318	49.706	4.145	30.857	38.747		
71.098	-31.173	38.739	91.413	2.477	3.529	52.771	20.315	33.650	35.210		
72.319	37.941	27.008	43.097	32.265	-25.904	60.711	29.222	5.676	52.912		
L	a	b	L	a	b	ΔE	ΔL	Δa	Δb		

データの読み込み

保存したデータを読み込んで、ウィンドウに値を表示することができます。
[測色ウィンドウ 1/2] 下の **データ読み込み** ボタンをクリックします。
([ファイル] メニューの [データ読み込み] から、[ウィンドウ 1] または [ウィンドウ 2] を選択して、データを読み込むこともできます。)



保存ダイアログが表示されたら、保存先とファイルを選択して **開く** ボタンをクリックします。

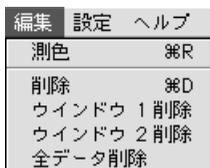


ポイント

- 保存したデータを読み込むときは、ファイルのコメント部分により測色環境、テキストフォーマットなどを識別してデータを読み込みます。
- Excelなどで作成した読み込み可能なデータファイルは、コメント部分がないので、現在モードで読み込みます。

測色データの削除

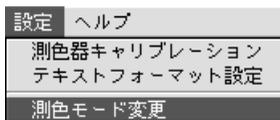
CS-Calculator のデータを削除できます。



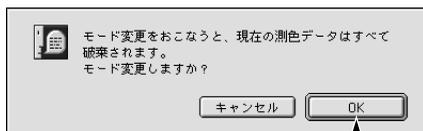
- ウィンドウに表示しているデータを削除するには、[編集] メニューから [削除] を選択します。
- [測色ウィンドウ 1/2] のデータを削除するには、[編集] メニューから [ウィンドウ 1 削除] または [ウィンドウ 2 削除] を選択します。
- 全データを削除するには、[編集] メニューから [全データ削除] を選択します。

測色モードの変更

- 1 測色環境を変更するには、[設定] メニューから [測色モード変更] を選択します。



- 2 **OK** ボタンをクリックすると、測色環境の設定ダイアログが表示されます。



クリックします

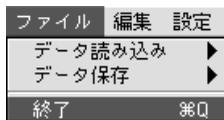


ポイント

測色モードを変更すると、測色したデータはすべて消去されます。必要なデータは、あらかじめ保存してください。

終了

CS-Calculator を修正するには、[ファイル] メニューから [終了] を選択します。



索引

数字

35色カラーチャート	23
140色カラーチャート	23

アルファベット

A ACアダプタ	5
C CHART35.EPS	23
CHART35.TIFF	23
CHART140.EPS	23
CHART140.TIFF	23
ColorWise Pro Tools	13, 21, 50
CS-Calculator	53
E EURO	25
I ICCプロファイル	25
M Mac-PC シリアル変換アダプタ	5
P Printer Calibrator	16
ProfileAdjuster	31
Profile Updater	24
S SWOP	25
U USB- シリアル変換アダプタ	5
Y Yケーブル	5, 6

アイウエオ

イ 色空間	54
印刷サンプル	5, 24
印刷プロファイル更新	
カスタムカラーチャート使用	29
標準カラーチャート使用	24
印刷プロファイル登録	50
印刷プロファイルの補正	1
インストール	
CS-Calculator	53
Printer Calibrator と Profile Updater	12
USB ドライバ	11
カ カスタムカラーチャート	23
環境視野	54

キ キャリブレーションシート	13
キャリブレーションターゲット	5, 17, 25
キャリブレーションプロファイル	
作成	19
選択	21
キャリブレータ	5, 6
補正	16, 25, 55
コ 光源	54
サ サンプル.EPS	24
サンプル.TIFF	24
シ ジャパンカラー	25
使用条件	
Macintosh	3
Windows	4
シリアルコネクタ	6
セ 接続	7
センサー	6
ソ 測色台紙	5, 19, 26
測色ボタン	6
測色モード	57
測色環境	54
テ 電源コード	5
電源コネクタ	6
ヒ 評価ウィンドウ	57
標準カラーチャート	23
フ プリンタキャリブレーション	1
ホ 保存形式	58
モ モジュラープラグ	6
ユ ユーティリティ	12

Appleの名称、ロゴ、漢字Talk、Mac、MacintoshおよびPower Macintoshは米国その他の国における米国アップルコンピュータ社の登録商標または商標です。AdobeおよびPostScriptはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）およびその子会社の各国での登録商標または商標です。

PowerPCは米国IBM コーポレーションの商標です。

Microsoft、WindowsおよびWindowsNTは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載したその他の製品名は、その所有者の登録商標または商標です。